



社会法学 / 情報文化学
准教授
おおし げん
大石 玄
(1972生)
修士(法学)
(北海道大学, 平 12)

■経 歴

北海道大学法学部卒 (平 8.3) / 北海道大学大学院法学研究科修士課程修了 (平 12.3) / スペイン政府奨学金給費留学生 (平 15.1-16.6) / 北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得満期退学 (平 21.3) / 北海道大学外国語教育センター非常勤講師 (平 21.4-21.9) / 釧路工業高等専門学校一般教育部門准教授 (平 23.4-30.3) / 釧路公立大学非常勤講師 (平 24.9-30.3) / 富山県立大学工学部准教授 (平 30.4)

担当科目	法学／教養ゼミⅠ・Ⅱ／トピックゼミⅠ・Ⅱ
専門分野	労働法／社会保障法／スペイン法／地域コンテンツ学
論文・報告	道幸哲也ほか編『変貌する労働時間法理』所収「労働時間規制と生命・生活」(法律文化社, 2009) / 水町勇一郎編『労働法改革』所収「労働者代表制度——スペインからの示唆」(日本経済新聞出版社, 2010) / 「アニメ《舞台探訪》成立史：いわゆる《聖地巡礼》の起源 について」(釧路高専紀要 45号, 2011年) / ほか多数
著 書	日本スペイン法研究会ほか編『現代スペイン法入門』(嵯峨野書院, 共著, 2010) / 道幸哲也ほか編著『18歳からのワークルール』(法律文化社, 京都, 2012)
所属学会	日本労働法学会 / 日本社会保障法学会 / 日本スペイン法研究会 / 地域コンテンツ研究会
学会委員等	日本労働法学会 学会誌編集委員 (平 27.5-30.5)
学外活動	連合総研「イニシアチヴ 2009 研究委員会」委員 (平 19.4-21.3)

■現在の研究課題

1) スペインの従業員代表制度

日本では労働組合の組織率が低下しており, 労働者を集団的に代表して使用者と交渉に当たる人物をどのように設定するかが大きな問題となっています。これに対し, スペインでは「統一代表」と呼ばれる独自の従業員代表制度が設けられていることに着目し, その機能の解明に取り組んでいます。

2) 地域コンテンツ学

21世紀に入ってから, アニメやゲームといったコンテンツの背景となった場所を訪れて楽しむ, いわゆる《聖地巡礼》が盛んに行われるようになっていきます。近年では, 観光行動にとどまらず, 来訪者が地域社会に関与してコミュニティを形成する例も登場してきており, 新たな町づくりの形態として注目しています。

■共同研究キーワード

スペイン労働法 / アニメ聖地巡礼